

薬学部「Student Pharmacist 認証式」を挙りました

薬学部では、2023年度実務実習開始を前に、2023年2月3日(金)に「Student Pharmacist 認証式」を行いました。実務実習を行う158名の新5年生に対し、小林道也薬学部長から実習に向けた心構えなどについて話があった後、来賓としてご出席いただいた薬学教育協議会北海道地区調整機構の福土将秀委員長(札幌医科大学附属病院薬剤部長)、北海道薬剤師会の有澤賢二会長ならびに北海道病院薬剤師会の菅原満会長(北海道大学病院薬剤部長)よりご挨拶を賜りました。

Student Pharmacist 認証式の終了後には、本学薬学部に対して多大なご支援を頂いている薬学部同窓会の桂正俊会長(第12期卒)から激励の言葉を頂戴しました。

実務実習は1期が2月20日(月)～5月7日(日)、2期が5月22日(月)～8月6日(日)、3期が8月21日(月)～11月5日(日)、4期が2023年11月20日(月)～2024年2月11日(日)まで、それぞれ北海道内各地の病院と薬局に分かれて行われます。



チュラロンコン大学Allied Health Sciences学部・北海道医療大学リハビリテーション科学部 学術交流プログラムを開催しました

2022年12月12日(月)に、本学リハビリテーション科学部と学術交流協定校であるチュラロンコン大学Allied Health Sciences学部による学術交流プログラムが本学総合図書館大会議室で開催されました。チュラロンコン大学からは、Allied Health Sciences学部長補佐・Allied Health Sciences学部理学療法学科研究分野副代表のDr. Duangporn Suriyaamaritが来学し、本学の施設を見学、交流プログラムで講演いただきました。本学からは4名の教員が研究紹介を行い、活発な質疑応答がなされました。

この交流プログラムは2021年から開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により延期となっており、今回ようやく対面での開催が実現しました。今後、学生の短期研修派遣・受入れ等、両大学の更なる交流が期待されます。



SCP×後援会コラボ 試験勉強応援企画「合格祈願!応援メシ」

コロナ禍において苦境に立つ医療系学生の支援のために寄附いただいた白米約300kgを、後援会の協賛および学内食堂のエムサービスに協力いただき、ピラフや炒飯等に加工して、国家試験や定期試験等の勉強に励む学生に2023年1月23日(月)より無料で合計約3,000食を提供しました。

Special thanks / 【お米の提供】■旭川市・Organic LAB ファーム ベッジ 代表 浅野様ほか 【調理加工・諸費用補助】■エムサービス(学内食堂) ■北海道医療大学後援会



EDITOR'S NOTE

編集後記であるので本来ならば本号の編集にまつわる裏話を書き記すのが私の役目であるのだが、いかんせん編集作業のほとんどすべてを入試広報課の方々に任せきりにしているので、さしたるネタも持ち合わせていないのが実情である。ただ、それでも職員の方々のご苦労は手に取るようにわかる。実際、この原稿の締め切りが1月13日であるのに2月に入っても脱稿できない私に業を煮やしていることであろう。

ところで、この編集後記の執筆依頼と併せて次のような要請を受けた。「9月発行予定の次号(No.181)のOB・OG訪問につきましては、臨床心理学科の先生にOB・OG取材先のご調整をお願いさせていただければと存じます」。これについては遅滞なく紹介できそうだが、何しろ多くの卒業生・修了生が社会で広く活躍してくれているし、今年もまた多くの学生が巣立って行く。この時期、日本中の学校には一種独特な寂しさが漂っている。それは学校という舞台から多くの主役たちが去っていきつつあるためであり、ここに教員と学生との間の「教える・授かる」という関係は終わりを迎える。そして春から両者は社会人という一つの大きなカテゴリーで括られ、立場を同じくして接して行くことになる。いや、むしろ立場は逆転し、卒業生から多くを学ぶ機会を得ることになるかもしれない。

日々の業務内容から、仕事のことや工夫していること、つらかったこと、苦労したこと、嬉しかったこと、やりがい、等々。どれも現場に出てみなければ得ることのできない経験ばかりである。そのような話を何人も卒業生から聞くことができる。この学びをもたらしてくれる卒業生に感謝するばかりである。(K.S 記)

ADVANCE

北海道医療大学広報誌 No.180

STAFF ● 遠藤 泰 浜上 尚也 志茂 剛 飯嶋 雅弘
内ヶ島伸也 奥田かおり 鈴木 和 今井 常晶
齊藤 恵一 長谷川純子 児玉 壮志 田村 至
近藤 啓 高橋 祐輔 山形 摩紗 三浦 清志
三川 清輝 近田 卓哉

発行日 ● 2023年3月

編集・発行 ● 北海道医療大学広報部 入試広報課
〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757
TEL:0133-22-2113
https://www.hoku-iryu-u.ac.jp/

広報誌についてのご意見・ご要望・情報等をお待ちしています。
E-mail:nyushi@hoku-iryu-u.ac.jp



■北海道医療大学の教育理念
生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成することによって地域社会ならびに国際社会に貢献することを北海道医療大学の教育理念とする。